



広報

おん

平成14年1月発行(No.251) 恩納村 総務課 TEL(098)966-1200



青と緑の豊かな活力ある村

村のひと (11月末日)

男	5,010人	(-9)
女	4,821人	(-10)
計	9,831人	(-19)
世帯数	3,547世帯	(-8)

うれしい予感 村産品を展示即売

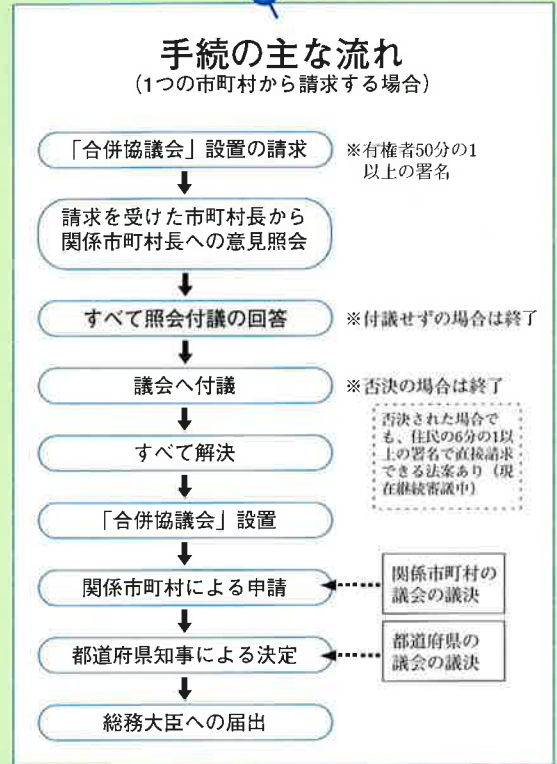
- ◆年頭のあいさつ
- ◆海外子弟の津嘉山さんが研修報告
- ◆第10回 恩納村文化展



「市町村合併」はあなたが主役です。

地方分権の到来、少子高齢化、財政悪化などによって、よりの確な対応、効率化などが求められる市町村行政。さまざまな課題に対応しつつ行政サービスを向上させていくため、市町村合併を推進することに期待がかけられています。政府は「市町村の合併の特例に関する法律（合併特例法）」を定め、市町村合併の支援体制を整備しました。「住民発議制度」による住民の意向を反映させる仕組みも設けられています。

■住民からできる合併の提案
合併を目指した住民や経済団体などによる取組みが全国的に活発になつていきます。こうした住民の意向を反映させるための制度として、「住民発議制度」が設けられています。有権者の五〇分の一以上の署名を集めることで、合併協議会（合併に関する関係市町村の話し合いの場）の設置を請求することができます。



ため、財政上の手厚い特例措置が設けられています。合併すると、スケールメリットによりさまざまな経費が節約されますが、合併後直ちに削減できるものではありません。このため、合併後一定の期間、合併前の財政を保障しています。

⑤効率性の向上！ 危機的な財政状況にあるなかで、より効率的な行政運営が求められています。

？ 今なぜ市町村合併か？
市町村合併が求められているのは次のような理由からです。

①地方分権の推進！ 地方分権は、住民に身近な行政の権限をできる限り地方自治体に移し、地域の創意工夫による行政運営ができるようになる取組みです。地方自治体にも行政基盤を強化するための努力が求められています。

②生活圏の広域化への対応！ 交通網の発達等で生活圏が拡大し、それに見合せて行政も広域的に対応する必要があります。都市近郊で市町村の区域を越えて市街地が続いており、広い観点から一体的なまちづくりを進めることが求められます。

③多様化する住民ニーズへの対応！ 住民の価値観の多様化、技術革新の進展などに伴い、住民が求めるサービスも多様化・高度化しています。これに対応するため専門的で高度な能力を有する職員の育成・確保が求められています。

④少子高齢化への対応！ 今後、各地域で少子高齢化が一層進み、少子高齢者への福祉サービスがますます大きな課題となつてきます。特に高齢者の多い市町村では、財政的な負担や高齢者を支えるマンパワーの確保が求められています。

⑤合併のメリットは？
市町村合併によって、次のようなメリットが考えられます。

- ①専門能力をもつ職員を確保・育成でき、行政サービスが向上
- ②少ない経費でより高い水準の行政サービスが可能
- ③高齢者などへの福祉サービスがより充実
- ④窓口サービス、文化施設、スポーツ施設などが広範に利用できる
- ⑤道路や市街地整備が広域的にでき、一体的なまちづくりが可能
- ⑥大型プロジェクトを実施できるようなる
- ⑦地域のイメージアップで若者の定着や職場の確保が期待できる

明るく住みよい地域社会の実現



年頭のあいさつ

恩納村長 大城英喜

村民の皆様、あけましておめでとうございます。

二十一世紀の輝かしいスタートの年となった昨年は、国内外を問わず大変動きの激しい一年でありました。本村にとりましても村民の皆様のご協力をいただき、二月にゴミの分別収集をスタートさせ、又、村民待望の博物館も五月に開館することができました。そして八月には村民の保健・福祉サービスの拠点整備で保健福祉センターの建設がスタートし平成十四年三月完成を目指し着々と工事が進められております。

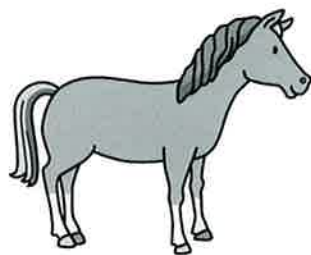
なお、瀬良垣漁港の整備や野球場の整備そして真栄田岬周辺の整備も北部振興策の一環として国の助成を得て推進される事になりました。加えて、字喜瀬武原区の公民館に対しても日米

行動委員会の九十％補助が認められた事も大きな喜びであります。そして、村民等しく喜び榮譽に思う事は、恩納及び安富祖中学校のソフトボールでの素晴らしい活躍と恩納中が全日本リコーダーコンテストで金賞に輝いた事でした。

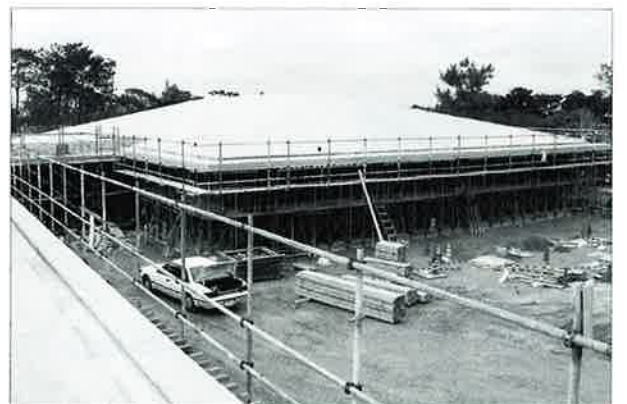
しかし、昨年九月に米国で発生した同時多発テロは、世界経済に大きな影響を及ぼし我が県でも観光産業を中心に影響を及ぼし、改めて平和を維持することの難しさを痛感し、今の現状を改善するためにも安心・安全恩納村を機会あることに発信していきたいと思っております。

まして明るく住みよい地域社会実現のため、村民の皆様の英知とご支援ご協力をあおぎ、これからの時代の進展に即応した魅力ある村づくりを職員一丸となつて努力してまいりますので、どうかよろしくお願い申し上げます。

新春の門出に当たり、村民皆様のご多幸とご健康を祈念申し上げ、年頭のごあいさついたします。



▲昨年5月に開館した恩納村博物館



▲着々と工事の進む総合保健福祉センター

海外子弟の津嘉山さんが研修報告



恩納村内外で 研修したことを発表

今年で二回目の実施となる恩納村出身海外子弟移住者子弟研修で、ポリビアから八月二十九日に来県し、恩納村内外で十一月いっぱい研修を重ねてきた津嘉山梢さんの研修報告会並びに激励会が十二月三日、村庁舎会議室で開催され、津嘉山さんの親戚や関係者が参加しました。

津嘉山さんは研修期間中、県立北部病院でリハビリテーション・栄養学の研修や整骨院でのマッサージ・灸研修また村内の琉球舞踊研究所で琉舞研修等三ヶ月学びました。

また、父親の出身地の南恩納区の青年とのエイサー等の地域行事や村主催の各事業にも積極的に参加し村民と交流を深め、研修期間中の十一月二日に開催された第三回世界のウンナンチユ大会では、海外と村内から出席者に舞踊の鳩間節を披露し、会場から大きな拍手が送られました。

報告会で津嘉山さんは、一病院での研修は、広い知識と最新の技術、機具の取り扱い方、患者とコミュニケーションを取り、触れ合うことが出来てとても良かった。親戚とも交流できて本当に嬉しかった。ポリビア帰ったら一生懸命頑張ります。」とあいさつがありました。



▲大城村長が激励を受ける津嘉山さん



▲楽しいダンスも踊られました

村民の創作した作品を一堂に展示



文化展
テープカット

九十名から
二百点余が出品

村内で日頃から創作活動に励んでいる村民の作品を一堂に展示し、村民に鑑賞する機会を提供し、創作意欲の向上と文化振興を図る目的で第十回恩納村文化展が十二月二十一日から二十三日までの三日間、村コミュニティセンターで開催され、多くの村民や出品者が会場に足を運びました。



村内で日頃から創作活動に励んでいる村民の作品を一堂に展示し、村民に鑑賞する機会を提供し、創作意欲の向上と文化振興を図る目的で第十回恩納村文化展が十二月二十一日から二十三日までの三日間、村コミュニティセンターで開催され、多くの村民や出品者が会場に足を運びました。

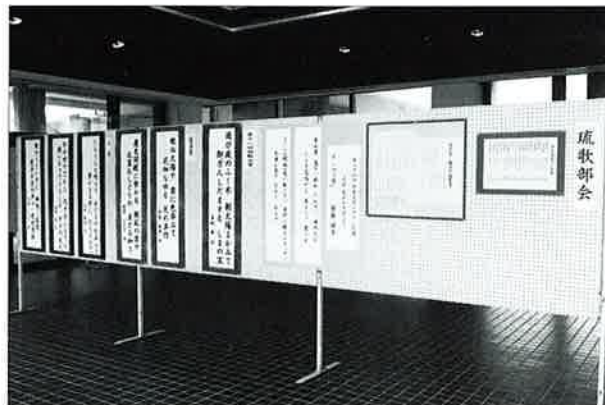


▲主催者あいさつを述べる古波蔵会長

展示会の初日のオープニングセレモニーには、展示作品の出品者や関係者が参加する中行われ、主催を代表して古波蔵弘会長は、「文化展の作品鑑賞を通して、村民が芸術文化活動に対する理解と関心を高めていただければ幸いです。」とあいさつした。その後、文化協会長、大城村長、志喜屋議会議長、伊波教育長、出品者の代表の池原さんで三日間の展示会をスタートする



▲期間中村内外から多くの方が鑑賞



▲琉歌部会の琉歌もロビーで展示

うれしい予感、村産品を展示即売



関係者によるテープカット

第四回恩納村産業まつり

村内の農林漁業、商工業、観光産業の振興発展と、各生産者観光関連業者等の親睦と連携を図り、地域産業の発展に寄与することを目的に第四回恩納村産業まつりが十二月二十二日から二十三日までの二日間、村コミュニティセンター広場で盛大に開催され、多くの方が会場に訪れ、村内で生産されている地域産品の展示や即売会などを楽しみました。

まつり初日の二十二日に行われたオープニングセレモニーで、同まつり実行委員会の会長の大城英喜村長は、「まつりを通して村づくりを更に前進させ、産業の発展にますます弾みがつくものと期待しております」とあいさつがあり、関係者によるテープカットでまつりは幕開けされ、その後ステージでは村内のリゾートホテルの勇壮な太鼓の演奏で二日間のまつりは幕開けされました。



▲まつりを通して村づくりを前進させますと大城村長

テープカットの後、消費者の風評による食肉に対する不安から、牛肉に消費が落ち込む厳しい状況の中「あんしん、まいさん、うちなー牛」のPR文も大城村長から読み上げられ、県産牛の試食会も行われ、牛肉の消費拡大を図りました。

その他、まつりでは観光関連業者提供のタレントショーや氷の彫刻、福引抽選会や二日目の最終イベントでは、展示品の即売も行われ、大盛況の中第四回産業まつりは閉会しました。



▲多くの人々で賑わいました



▲会場内には多くのテナントが出店

恩納村総合保健福祉センター姿現す！

かねてから南恩納地内において建設が進められている総合保健福祉センターは去った12月20日、スラブ打ちが行われた。午前7時から約11時間かけてセンターの屋根部分まで無事コンクリートを流し込み、総合保健福祉センターの全体像が明白に見えてきた（写真）。なお、今後は3月頃まで内部及び周辺整備工事を行い、新年度のオープンを目指す。

総合保健福祉センターにおいては保健福祉課保健係が庁舎から移動し、保健サービス（住民健診・健康相談・機能訓練・予防接種・老人保健事業・母子保健事業・精神保健事業等）を中心にセンターにおいて行われる予定。また、社会福祉協議会も庁舎から総合保健福祉センターに移動する予定で、今後センターは村保健福祉サービス拠点となる。

なお、総合保健福祉センターは現在愛称を募集している。下記の要領に従い、多くの愛称をお待ちしています。ご意見・お問い合わせは下記まで。

募集内容：村総合保健福祉センターの愛称（略称）

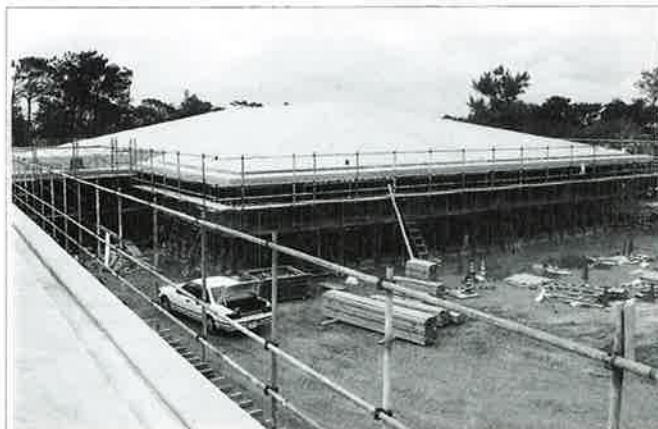
イメージ：保健福祉事業の拠点にふさわしい愛称で「わかりやすく・親しみやすい」愛称であること。また、村のイメージ「青と緑と豊かな活力ある村」にふさわしい愛称であること。（10文字を超えない程度でお願いします）

応募期間：平成13年11月から平成14年2月末日まで

応募方法：ハガキや封書による郵送、又はインターネットを通してお送り下さい。

- 応募要領：1. 村総合保健福祉センターの愛称
2. 上記愛称の理由またはイメージ等をお書き下さい
3. あなたの住所
4. あなたの氏名
5. あなたの電話番号

審査方法：村三役ならびに健康づくり推進協議会委員による審査後決定し、村総合保健福祉センターの愛称落成式にて応募者に記念品を贈呈する。



▲着々と工事の進む総合保健福祉センター

宛先

〒904-0492
恩納村字恩納2451番地
恩納村保健福祉課保健係
センター愛称募集まで

問い合わせ

恩納村保健福祉課保健係
☎098-966-1207
(内線124~126)

第4回 恩納村産業まつり



▲会場では水の彫刻も実演



▲開会式には多くの関係者が参加



▲盛りだくさんの内容で楽しめました



▲まつり恒例のかりゆし太鼓も舞台上で演武

第10回 恩納村文化展



▲手芸芸部会の作品



▲書道部会の作品



▲第10回を記念して会場内庭での陶品等の展示即売



▲盆栽部会の作品

平成13年度 第12回恩納村定例会で決議 夕暮れ時における早めのライト点灯宣言

悲惨な交通事故を防止し、安全で住み良い街の実現は、私達村民の共通の願いである。

交通事故が多発し、多くの生命が奪われている現状を鑑みると、村民一人ひとりが交通の基本的ルールを守り、「交通事故は最も身近な危険」であることを認識し、自らが安全な交通行動に努めることが重要である。

特に、夕暮れ時に歩行中の高齢者等弱者の交通事故が相当発生している状況の中で、薄暗くなる前の早い時期にライトを点灯して、自分の車の存在を高齢者だけでなく全ての歩行者や運転手に知らせることは、自らを守る基本的な交通マナーであるとともに、交通事故防止に大きな効果をもたらすものである。

また、夕暮れ時に早めのライトを点灯することは、いつでも、どこでも誰もが



▲仲泊区内で行われた交通事故防止を呼びかける看板設置

平成十三年十二月二十日

簡単にできることであり、安全運転の自覚を高める効果も極めて大きいものがある。

こうしたことから、恩納村議会は村民とともに交通事故を防止する基本行動として「夕暮れ時における早めのライト点灯の徹底」を期するものである。

以上決議する。

一戸一灯運動で推進宣言

犯罪のない、明るく住みよい社会の実現は、私達村民の共通の願いである。

しかしながら、近年社会環境の変化により、夜間における路上犯罪が増加の傾向にある。

本県では、クラブ活動や学習塾等の帰りを狙った暗い場所での「痴漢」、「通行中の婦女子に対する強制わいせつ事件」、などの路上犯罪及び交通事故が発生しており、生活道路の安全性の向上が強く望まれているところである。

村民が夜間利用する道路は、街灯などの照明により明るく安全で安心して歩けるものでなければならぬ。

夜間の路上犯罪を防止するには、街灯などによって道路を明るくすることが最も有効な方法であるが、必ずしも十分な街灯の設置がなされていないのが現状である。



▲村内では仲泊区からライトアップ運動がスタート

平成十三年十二月二十日

よって、恩納村議会は、「二灯は家庭を明るく照らし、万灯は地域を明るく照らす」の精神で、夜間における路上犯罪のない明るい安全な街づくりのため、一戸一灯運動を強力に推進する。

以上決議する。

漁業組合創立30年の節目を祝う

昭和四十五年に設立した恩納村漁業協同組合の創立三十周年記念式典が十一月三十日、村内のホテルで開催され、組合関係者が多く参加して節目の年を盛大に祝った。

記念式典で、同組合の金城重治組合長は、「組合を維持し発展するためには、三十周年を期に、組合設立の趣旨と先輩方の思いを学び、今後の組合経営に生かさないければなりません。」と式辞が述べられました。

また、来賓を代表して大城英喜村長は、「二十一世紀を展望した本村水産業の大いなる発展を目指し、美ら海計画基本構想を策定し、施策を組合員の協力をいただきながら展開していきたい。」とあいさつがありました。

その他、式典ではこれまで村の水産業の発展に貢献した歴代組合長を含めた個人三十一名と三団体に金城組合長から水産功労賞が授与され、これまでの協力者に対して感謝した。

同組合は、設立当初採貝、追込一本釣漁が主であったものが、その後研究グループによりモズク、アーサ、海ぶどう養殖と藻類養殖確立され、これまでの捕る漁業から作る漁業へ大きく変化してきた。



▲先輩方の思いを生かしますと金城組合長



▲多くの組合関係者が出席

中学生が英語で物語を発表

英語の物語を暗記し会話力、表現力、発表力の向上を図り、国際社会で活躍する人材の育成を図ることを趣旨に英語ストーリーコンテストが十二月十七日、仲泊中学校体育館で開催され、村内五中学校から男女それぞれ五名の計十名が堂々と舞台上で発表しました。

主催者を代表して、村学力向上対策委員会の島袋正重委員長は、「よりよい素敵な人生を歩むためにも英語を学ぶことは大切なことです。普段の力を発揮して、精一杯発表して下さい。」と発表者を激励しました。

各中学校からの代表者の中には、修学旅行期間中も原稿を持参した生徒もあり、一生懸命暗記した物語を流暢な英語で話していました。

会場には、各学校の発表者を応援するために中学生も多く訪れ、原稿を目で追いつながら同じ中学生の発表を真剣に聞いていました。

審査の結果、キング牧師を題材にした「私には夢がある」を発表が見事最優秀賞に輝きました。なお、結果は次のとおり。

最優秀賞 喜納小百合(仲泊中)
優秀賞 長浜 康祐(仲泊中)
松田 一輝(山田中)
泉川加奈子(安富祖中)



▲英語ストーリーを真剣に聞く子ども達



▲写真右から2番目が最優秀賞喜納さん

泊高等学校通信制課程

泊高等学校通信制課程（泊通信）では、平成14年（2002）年度の生徒募集を行います。泊通信は、事情があって高校に進学できなかった者、中途退学で高校を卒業していない者、仕事の都合で毎日の登校ができない者など、高校に通うことの希望がかなえられない方々のための学校です。

毎週日曜日（または月曜日）の授業（スクーリング）を受け、課題（レポート）を提出して単位を取得していきます。

今年度の募集要項を配布していますので、ご希望の方は本校までお問い合わせ下さい。受付は下記の日程で行っています。

出願期日：平成14（2002）年2月15日（金）～22日（金）

お問い合わせ先：泊高校通信課程

098-868-1237

沖縄キリスト教短期大学 2002年度社会人学生募集

1. 特別推薦入試（21歳以上、自己推薦可能）

- 1) 募集学科 英語科・保育課
- 2) 出願期間 B日程 3月4日（月）～7日（木）
- 3) 試験日 B日程 3月12日（火）

2. 社会人のためのAO型入試

- 1) 随時、面接と書類審査によって選抜する入試です
- 2) 面談申し込み期間：2002年2月28日まで

詳しいことは、沖縄キリスト教短期大学入試課へ

お問合せ下さい。

TEL 098-945-9782

園芸フェアおきなわ 2002

沖縄花のカーニバル2002年
第17回 沖縄の花のまつり
第12回 沖縄県やさいフェスティバル

平成14年2月16日（土）→17日（日）

沖縄コンベンションセンター

AM10:00～PM6:00

（最終日はPM5:00）

元気いっぱい上等さあ！
沖縄の花と野菜と果実たち。

主催：沖縄県／沖縄県花き園芸協会

沖縄県やさいフェスティバル実行委員会

●お問い合わせ先／沖縄県園芸課

☎098-866-2266



自動車税の滞納整理強化月間 平成14年1月16日～3月15日（3ヶ月間）

まだの方は、お早めに最寄りの銀行、
農協等で納めてください。

自動車税事務所、各県税事務所、支庁県税課

沖縄県

恩納村配食サービス

恩納村ではH14年2月より、高齢者等を対象にお弁当の配食サービスを行います。配達の際には声かけをとおして、健康状態の確認などにも気を配ります。いつまでも健康にいい食生活を保ち、地域の中で元気に生活できるよう応援するサービスです。

対象者：おおむね65歳以上の1人暮らしの方や、高齢者世帯の方。
または、心身の障害等により食事の調理が困難な方。

配食の回数：1週間につき5日以内の夕食1回
（土曜日・日曜日・祝祭日を除く）

食事内容：栄養バランスがとれ、塩分を控えたお弁当、また利用者の状態に合わせ
食事形態（常食、刻み食、ミキサー食）も選択できます

利用料金：1食あたり200円



申し込み・お問い合わせ先
恩納村保健福祉課 福祉係
098-966-1207（内線122）

特別弔慰金

特別弔慰金の請求はお済みですか？

請求期限は、平成14年4月1日です。

この期限を過ぎますと、法律の規定により、特別弔慰金を受ける権利が消滅します。

対象者：戦没者死亡当時の三親等内親族で、主に次の要件を満たす方に特別弔慰金が支給されます。

- 平成7年4月1日から平成11年3月31日までの間に、公務扶助料や遺族年金等の受給権者が遺族内にいなかった方
- 平成7年4月2日から平成11年4月1日までの間に、戦傷病者戦没者遺族等援護法による弔慰金の受給権を取得した方、（ただし、平成11年4月1日において同一の事由につき公務扶助料や遺族年金等の受給権者がいる場合を除く。）

給付内容：額面24万円、6年償還の記名国債

請求窓口：恩納村保健福祉課 福祉係 098-966-1207（内線123）